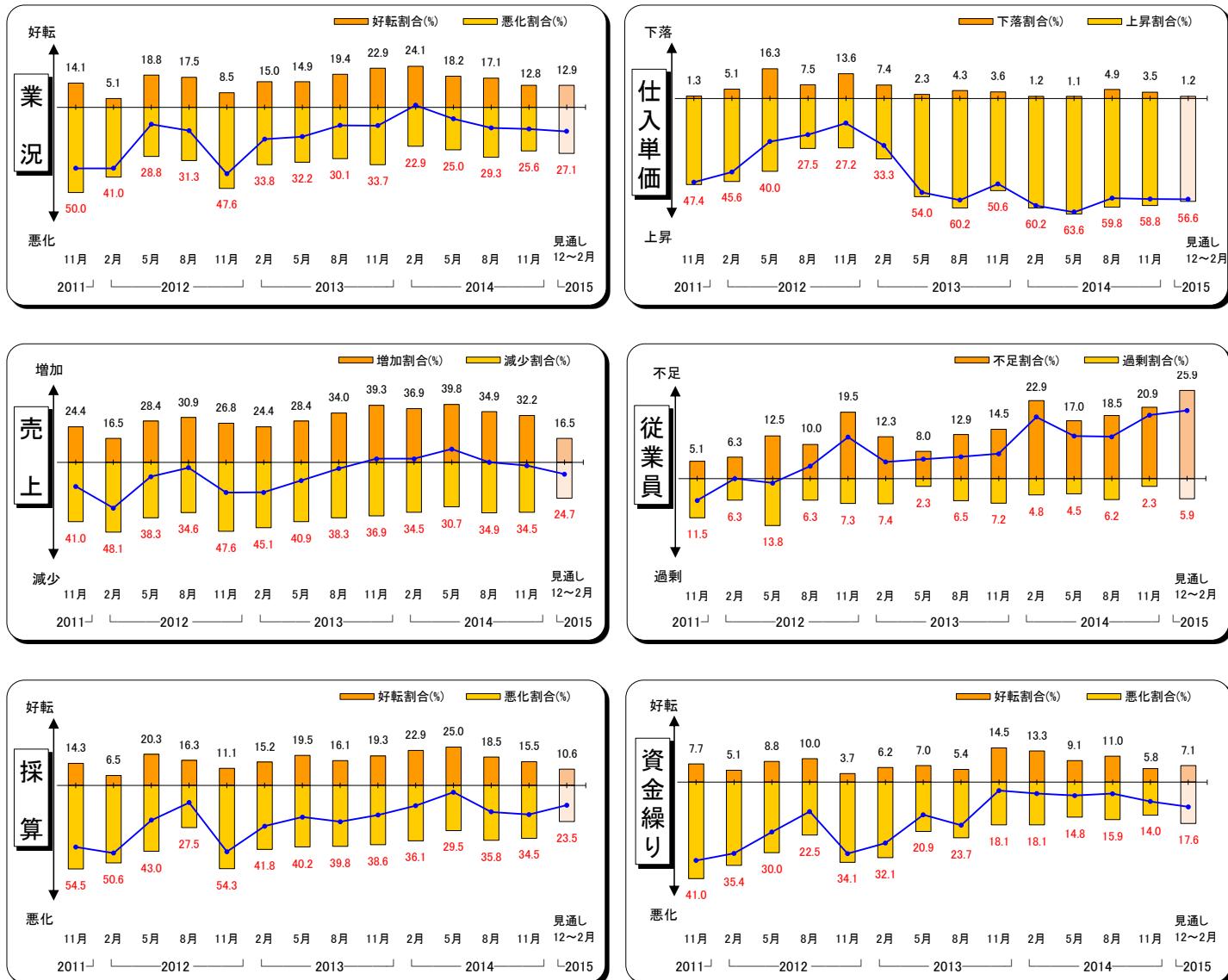


# 【製造業】①



## 【製造業】②

### 企業の声（日本標準産業分類順）

水産食料品製造業	円安の影響が仕入単価の上昇という形で始めて来た。
動植物油脂製造業	円安の影響で原材料単価が上昇し、厳しくなっている。
オフセット印刷業	顧客名は記載できませんが「受注価格に 8%の消費税をプラスとなると、印刷を発注する予算がないので・・・」といったことを複数の公的な機関から言われました。結局表向きは「こういうことがあってはならない」と言っていますが、弱い企業は消費税率引き上げ分に対して自腹を切らなければやっていかないのが真実であります。行政や国家機関が率先してすべての業種の最低価格等の整備が行わなければ、中小企業の景気が良くなることはないと思います。
オフセット印刷業	仕入の価格は上昇を続けていますが、販売価格は変わりありません。設備の更新が続いているので大変です。
鉄鋼業	賃金上昇の影響で利益が圧迫されてくると思われます。当然商品価格に転嫁できないので、効率性を求めなくてはならないと考えます。
建設用金属製品製造業	円安や消費税増税、電気料金の値上げ等の影響で、全体的に仕入価格が上昇している。
建設用金属製品製造業	毎回のごとく“受注が伸びない”“採算も悪い”の状態です。悪い状況でも前を向いていくしかありません。時節柄、マスコミ等で「年末賞与が何%アップする」という事が取り上げられていますが、実際は賞与どころではない中小零細企業が多いのではないかでしょうか。ある程度、気配りのある記事の取り上げ方も必要だと思いますが・・・
金属製品製造業	社会保険の加入問題は、現状の売上からだと非常に厳しい。売上の増減がエレベーターのように激しく動くので、やりくりはかなり難しい状態に向かうような気がする。
建設機械・鉱山機械製造業	当社は東北の復興事業があるので来年も順調と思われるものの、海外からの仕入単価が上昇している。消費税率引き上げの延期はありがたかった。
金属工作機械製造業	2年間かけて開発した業界初の専用機が完成しました。多少業績に貢献しそうです。
生産用機械・同部分品製造業	消費税率 8%への引き上げの影響はじわじわ実感している。一部の大手企業の業績とは裏腹に街場の景況感は良くない。従来以上に知恵をしぼった独自の経営戦略の必要性を感じている。
生産用機械・同部分品製造業	中小下請企業には、円安も、株高も影響しない。どんなに財政出動しても下請の景況は良くならない。真の中小下請企業対策が必要である。
理化学機械器具製造業	当社は輸出比率が約 70%と高いので、最近の円安により業績は好転していますが、輸出先の今後の経済状況に陰りが見えており先行き不透明です。仕入単価、特に外注加工費が上昇傾向にあり、採算の悪化が予測されます。
電子管製造業	通信業界の設備投資の減少及び縮小が響き、この先の見通しが不透明である。一部の製造業に活況感がある模様なので、国内全体の底上げを急いでもらいたい。
集積回路製造業	消費税を引き上げしても、特別変化は無いと思います。円安は行き過ぎだと思います。大手自動車メーカーの例では、日本から輸出する際、1 ドル 90 円～100 円で充分にプラスになると発表されました。大手企業・中小企業・零細企業のバランスがあるので、そこを考えるべきと感じます。日本は中小企業で活性化している事を忘れないで欲しいです。